

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年2月14日

事業所名 放課後等デイサービスライム

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○	○		・活動の内容で机・椅子等を外に出しスペース確保している。 ・廊下やウッドデッキ等を工夫して使いクールダウン等の支援にあてている。	時にはグループを二つに分け、戸外での活動を有効に使い、室内スペースを広くする工夫もしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・十分な支援ができる人数である。 ・利用児の休みやその日の様子に合わせて配置を話し合っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○	○		・通路等の整理整頓し、床がバリアフリーである。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・日報を記入したり、年度末に社長との面談が行われている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・運動会など親子で参加できる行事を実施した。 ・職員が必ず確認をしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・毎月写真付きのお便りを発行している。 ・ホームページで細かく載っていた。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか					
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・立松先生の勉強会に参加している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・お迎え時の申し送りでも情報共有を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・主任を中心に毎月話し合っている。	

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・リーダーを交代制にし得意な分野を中心に考えプログラムを組んでいる。 ・様々な子供の楽しめる活動やイベントが取り組まれている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・長期休暇では電車に乗ったり、動物園へ行ったりしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・2つのグループに分けて活動を行っている。 ・下調べをしどのような状況になっても大丈夫なような計画をしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・毎日ミーティングを行い活動の流れを周知している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・ライン、ミーティングボードの記入を行い必ず確認している。 ・ミーティングを行い活動の周知や活動の話し合いをしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日誌の書き方等、全員で共有し活動の記録を支援につなげている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			・各々の児童に合わせ活動している。	
関係機	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・学年が替わるタイミングで担任の先生に電話をしている。 ・変更時などラインを活用して職員にすぐに伝えている。 ・学校・保護者と協力し合い行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○	○	○	・該当児童なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○	○			就学前にライムでの活動を体験したり、ライムの交流をしている。引継ぎ会議や情報書類の共有をしている

関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○	○	○	・該当児童なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	○		・他の放課後等デイサービス事業所や障害のない子供との交流があってもよい。	児童館や地域公園で遊ぶことで交流を意識しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・お迎え時、保護者にきちんとお伝え出来ている。 ・ライン等で活動の様子を写真で送っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	○		・実施を考えている。	今後ペアトレについても実施していきたいと思います。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	○		・運動会を開催し保護者同士の連携を支援している。	運動会の交流はおかげさまで好評でした。今後も保護者間の交流の場を増やしていきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・迅速な対応が出来ている。(管理者・児発管が主) ・保護者の意見を聞くことが出来る。体制が常に整って職員間で周知出来ている。	できるかぎり迅速に対応できるように心掛けています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・シュレッダーの活用や棚に鍵を付ける等の対応もしている。	

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	○	○	・地元の畑を借り作物を育てている。 ・コロナもあり行えていない。	今後考慮していきたいと思います。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・ミーティングでの確認を行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			・毎月1回必ず行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	○	○	・該当児童なし	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・毎月のミーティングでの報告・報告書の提出	

